平成 26 年３月６日

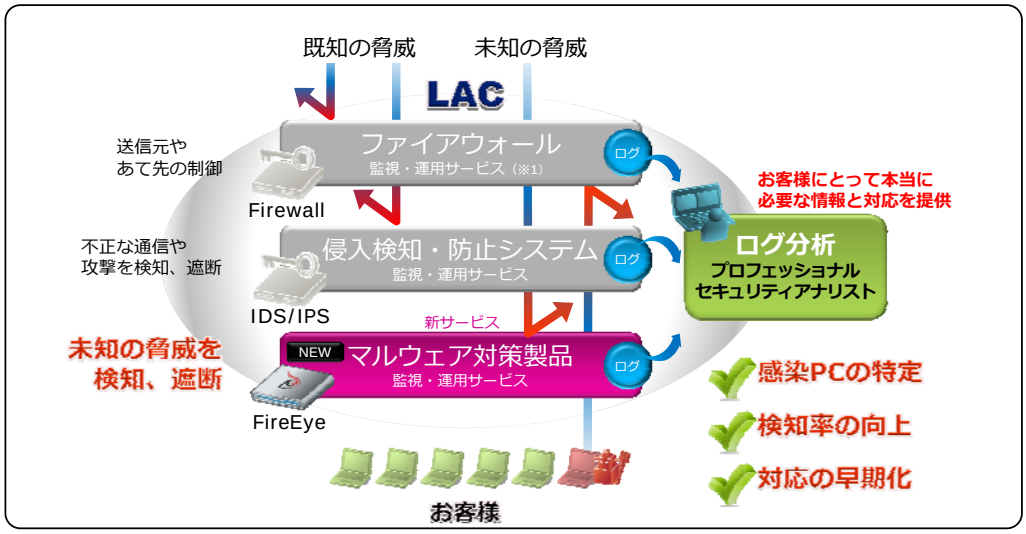
各　位

会 社 名　株　式　会　社　ラ　ッ　ク
代表者名　代表取締役社長　髙　梨　輝　彦
（JASDAQ・コード番号：３８５７）
問合せ先　理事ＩＲ広報部長　白　石　通　紀
電　　話　０３－６７５７－０１０７

ラック、未知の不正プログラムやサイバー攻撃に対応する「セキュリティ監視・運用サービス」を拡充
～米 FireEye 社製品を活用し、24 時間対応の「マルウェア対策製品監視・運用サービス」を販売開始～

株式会社ラック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：髙梨 輝彦、以下ラック）は、悪質かつ巧妙化するサイバー攻撃への対策を拡充するため、セキュリティ監視センターJSOC（ジェイソック：Japan Security Operation Center）のセキュリティ監視サービス「JSOC マネージド・セキュリティ・サービス（JSOC MSS）」に、未知の不正プログラムを検知する「マルウェア対策製品監視・運用サービス」を新たに加え、本日より販売を開始します。（サービスの提供開始は 4 月 1 日からの予定）

今回提供する「マルウェア対策製品監視・運用サービス」は、未知のマルウェアや不正通信の検知に効果を発揮する FireEye 社の製品を用いた、"未知の脅威"に対応するサービスです。マルウェアの不正通信を検知した際に原因を特定し事故被害を把握するには、高度な専門知識とノウハウを必要とし、それに加え詳細なデジタル科学調査が必要です。本サービスにより、FireEye 製品が検知した脅威アラートを、豊富な経験を有する JSOC のエンジニアが 24 時間体制で監視・分析することで、"未知の脅威"に対し迅速に安全を確保することができます。さらに、既存の JSOC 監視サービスである、通信の宛先を確認するファイアウォール監視や、通信の中身を確認して攻撃に対応する IDS/IPS 監視などと相互に組み合わせることで、より強固なセキュリティ対策を実現します。すでに FireEye 製品を導入している企業にとっても、ラックが管理や運用も代行することで、未知の脅威への対策が強化され、お客様の運用コストも削減します。

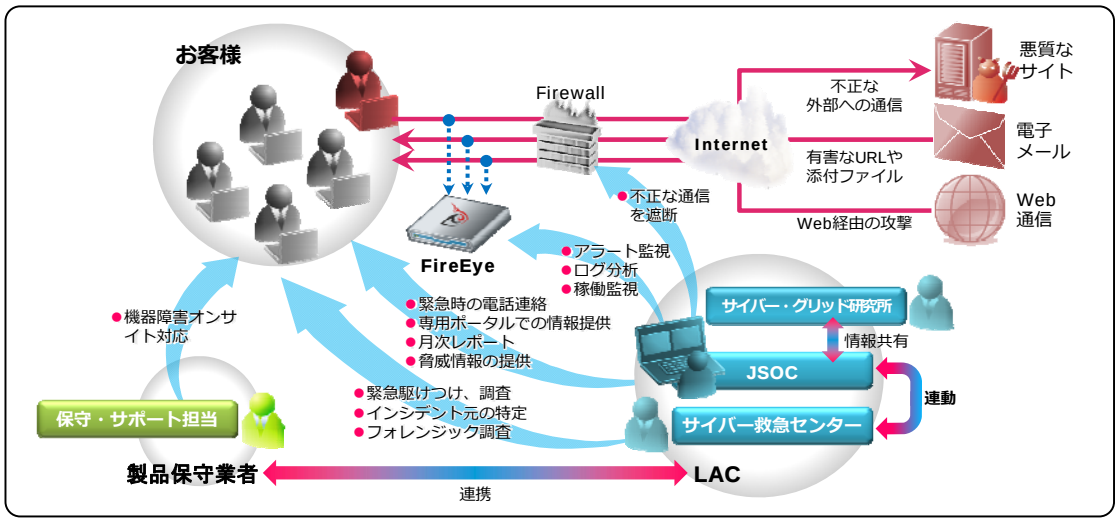


図： サービス向上された”未知の脅威”への対応イメージ

■「マルウェア対策製品監視・運用サービス」の主な特長

1. FireEye 製品が検知した脅威情報のアラートログを、セキュリティの専門知識を有したラックの経験豊かなエンジニアが 24 時間 365 日体制でリアルタイムに解析。
2. 緊急性が高い事象が認められた場合は、15 分以内にお客様へ電話連絡し対策の支援を実施。
3. 同一環境に導入された侵入防止システム（IDS/IPS）の監視結果と、JSOC 独自の相関分析を実施し、より精度の高いセキュリティ分析を提供することが可能。
4. 監視機器となる FireEye 製品の動作を 24 時間継続的に監視。バージョンアップなどの運用管理を代行。

※ サイバー事故の発生時は、ラック「サイバー救急センター」と連動し、原因調査と駆けつけ対応を実施。アラート検知からサイバー事故対応までを一括してサポートするオプションサービスを用意。



図：「マルウェア対策製品監視・運用サービス」提供イメージ

ラックは、FireEye 社が日本法人を設立する以前の 2011 年より同社と連携し、日本におけるサイバー攻撃対策を行ってきました。また、昨年末には FireEye 製品が発するアラートを基に、詳細な分析・調査を行う平日対応の「FireEye 分析支援サービス」を提供しており、お客様よりご好評をいただいております。今回、更に 24 時間 365 日体制の「マルウェア対策製品監視・運用サービス」を拡充することにより、お客様の"安心・安全"のための選択肢がより増すものと確信しています。ラックは、日本の組織をサイバー攻撃から防衛するためのサービスを開発、提供し続けていきます。

本サービスの正式リリースに対して、米 FireEye 社 Vice President of worldwide channels and alliances, Steve Pataky 様よりエンドースメントをいただいておりますので、ご紹介をいたします。

【米 FireEye, Inc. Vice President of worldwide channels and alliances, Steve Pataky 様】

ファイア・アイは、豊富なポートフォリオを有し、セキュリティ市場で信頼を得ているラック様が運営する「JSOC」において、新たに当社と協調した「マルウェア対策製品監視・運用サービス」を提供開始することを、心より歓迎いたします。FireEye 製品が持つ、未知のマルウェアやゼロデイ攻撃を検知するという強みを活かして、24 時間 365 日体制で脅威の内容を分析・調査し、適切な対応までをお客様に迅速に提供できるのは、長年の実績と経験を有する「JSOC」ならではの付加価値と確信しております。当社製品とラック様が提供する監視・運用サービスの協調は、すでに現実のものとなっている“未知への脅威”への対策をより有効かつ強固なものにし、お客様がそれらに対処することを可能にいたします。

▼以下のページでも、「マルウェア対策製品監視・運用サービス」の情報をご覧いただけます。
http://www.lac.co.jp/service/operation/fireeye.html

＊「水飲み場型攻撃（watering hole attack)」とは
水飲み場に集まる動物を狙う猛獣の攻撃になぞらえ、攻撃対象とするユーザが普段アクセスするWebサイト(水飲み場）にコンピュータウイルスを埋め込み、サイトを閲覧しただけでコンピュータウイルスに感染するような罠を仕掛ける攻撃方法です。巨大なポータルサイトのような不特定多数が訪問するサイトに限らず、特定の関心事や組織・業界関係者が訪問するWebサイトも、攻撃対象者を絞り込むための狩り場として狙われています。

▼日本における水飲み場型攻撃に関する注意喚起と対策方法（2013年10月9日）
http://www.lac.co.jp/security/alert/2013/10/09_alert_01.html

以上

■ 株式会社ラックについて　(http://www.lac.co.jp/)
ラックは、1986年にシステム開発事業で創業、1995年にいち早くセキュリティ事業を開始。2012年4月にグループの合併により、株式会社ラックとして新たにスタート。サイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーとして、豊富な実績を誇る「脆弱性 診断サービス」、日本最大級の「セキュリティ監視センターJSOC」による24時間365日のセキュリティ監視・分析サービス、情報漏えい事故などの緊急対応・支援をする「サイバー119」の提供をはじめ、金融機関向け基盤システム開発で培った「システム開発」など、官公庁・企業・団体等のお客様にITトータルソリューションサービスを提供しています。

【お客様からのお問い合わせ先】	【報道機関からのお問い合わせ先】
株式会社ラック　営業担当 Tel: 03-6757-0113　E-mail: sales@lac.co.jp http://www.lac.co.jp/contact/index.html	株式会社ラック　広報担当 Tel: 03-6757-0130　E-mail: pr@lac.co.jp